

財務ハイライト

2020年度の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う営業活動自粛の影響もあり手数料関連利益が減少となる一方、三井住友信託銀行における実質的な資金関連利益の増加などにより、実質業務純益は前年度比56億円増益の2,947億円、公表予想も大幅に上回る結果となりました。

一方、臨時損益以下は、ニューノーマルを見据えたソフトウェア資産等の減損処理のほか、政策保有株式評価益とヘッジ取引評価損の双方を一部実現、ヘッジポジションの持ち値改善を図り、親会社株主純利益は前年度比208億円減益の1,421億円となりました。新たにスタートさせた中期経営計画初年度としては、期初計画1,400億円を達成するなど概ね順調に進捗しました。

■2020年度決算の概要

<連結>三井住友トラスト・ホールディングス(連結)

(単位: 億円)

	2019年度(A)	2020年度(B)	増減(B) - (A)	増減率
実質業務純益	2,890	2,947	56	2.0%
経常利益	2,576	1,831	△ 745	△ 28.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,630	1,421	△ 208	△ 12.8%
与信関係費用	△ 438	△ 78	360	—
自己資本ROE*	6.25%	5.41%	△ 0.84%	—
1株当たり当期純利益(EPS)	434円	379円	△ 54円	△ 12.6%
1株当たり純資産(BPS)	6,822円48銭	7,192円07銭	369円	5.4%

※ $\frac{\text{親会社株主に帰属する当期純利益}}{(\text{期首株主資本合計(自己資本)} + \text{期末株主資本合計(自己資本)}) \div 2} \times 100$

<単体>三井住友信託銀行(単体)

(単位: 億円)

	2019年度(A)	2020年度(B)	増減(B) - (A)	増減率
実質業務純益	2,068	2,065	△ 2	△ 0.1%
資金関連利益	1,341	2,299	957	71.4%
手数料関連利益	1,743	1,639	△ 103	△ 5.9%
特定取引利益	1,021	△ 332	△ 1,354	△ 132.5%
その他業務利益	425	913	487	114.6%
経費	△ 2,464	△ 2,454	9	△ 0.4%
与信関係費用	△ 347	△ 63	284	—
臨時損益等	44	△ 862	△ 906	—
経常利益	1,764	1,140	△ 624	△ 35.4%
特別損益	10	156	145	—
当期純利益	1,247	959	△ 287	△ 23.1%

(注1) 金額が損失または減益の項目には△を付しています。

(注2) 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しています。

<配当>

	2019年度(A)	2020年度(B)	増減(B) - (A)
1株当たり配当金(普通株式)	150円00銭	150円00銭	±0円00銭